



平成25年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月22日

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所 大  
 コード番号 7590 URL <http://www.takasho.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高岡 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 井上 淳 (TEL) 073(482)4128  
 四半期報告書提出予定日 平成24年9月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第2四半期の連結業績 (平成24年1月21日～平成24年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第2四半期	9,253	10.6	750	19.2	705	11.6	387	18.4
24年1月期第2四半期	8,369	18.2	629	21.6	632	30.2	327	19.3

(注) 包括利益 25年1月期第2四半期 392百万円(20.1%) 24年1月期第2四半期 327百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年1月期第2四半期	41	64	—	—
24年1月期第2四半期	39	38	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第2四半期	14,871	36.4	5,450	36.4	—	—
24年1月期	12,187	37.4	4,584	37.4	—	—

(参考) 自己資本 25年1月期第2四半期 5,415百万円 24年1月期 4,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年1月期	—	—	0	00	14	00
25年1月期	—	—	0	00	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	—	15	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想 (平成24年1月21日～平成25年1月20日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	15,339	2.5	891	25.8	842	22.0	418	32.5	42	83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年1月期2Q	10,079,814株	24年1月期	8,679,814株
25年1月期2Q	101,304株	24年1月期	311,304株
25年1月期2Q	9,313,895株	24年1月期2Q	8,319,510株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は、平成24年8月24日(金)に機関投資家およびアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に個人消費や公共投資などの内需の底堅い推移により一部回復の兆しが見えたものの、欧州財政危機に端を発した海外景気の減速や株式市場の低迷、長引く円高等の影響により国内景気の下押しリスクが存在し、先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻くガーデニング業界におきましては、住宅ローンの金利優遇や住宅エコポイント制度などの政策効果もあり、新設住宅着工数は低水準ながら増加基調となっております。

このような状況の中、当社グループは、庭は家での暮らしにおける5番目の部屋である「5thROOM」(フイフスルーム)に基づき、「ポーチガーデン」での暮らしのデザインを提唱し、さらに庭からできる省エネ、節電、安全をテーマとした「SMART LIVING GARDEN」(スマートリビングガーデン)による自然や季節を楽しみ、心地良い庭での暮らしを目的とする新商品の拡充と市場への啓発活動に注力してまいりました。

売上高につきまして、プロユース部門では、新設住宅着工数が低水準で増加する中、家と庭をつなぐ空間となる「ポーチガーデン」シリーズの販売が顕著に推移したことや、またこれらを構成する部材である「エバーアートウッド」が建材としても使用されることから販売が順調に推移いたしました。さらに、「エバーアートウッド」シリーズの一部のアイテムにおいて、今後の売上拡大を目的に変色や剥がれに対する5年保証制度を開始いたしました。

また、夜の庭を演出する「光」について、当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティングマイスター制度」の認定者の拡大を図り、ローボルト(12ボルト)LEDライトならびに100ボルトLEDライト等の新アイテムを市場に投入した結果、照明機器の販売が堅調に推移したこと等により前年同四半期と比べ増加いたしました。

ホームユース部門では、原発の稼働問題により消費者の間でも節電の意識が高まり、暑さ対策としてシェードやよしずなどの日除け商品や木製品の売上が順調に推移いたしました。さらに、自社海外製造拠点である九江高秀園芸製品有限公司の本格稼働に伴い、生産体制の強化ならびに在庫の集約化等により需要時期にタイミングよく供給したこと等により、前年同四半期と比べ増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は売上高9,253,132千円(前年同四半期比10.6%増)、営業利益750,402千円(前年同四半期比19.2%増)、経常利益705,540千円(前年同四半期比11.6%増)、四半期純利益387,814千円(前年同四半期比18.4%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は14,871,063千円(前連結会計年度末と比べ2,683,829千円増)となりました。

流動資産においては、ガーデニングシーズン立ち上がりの売上増加に伴い受取手形及び売掛金が4,275,807千円(前連結会計年度末と比べ1,466,476千円増)となりました。また、たな卸資産においても販売に向けた在庫保管により3,498,955千円(前連結会計年度末と比べ526,126千円増)となりました。

固定資産においては、建物の建設により建物及び構築物が2,165,340千円(前連結会計年度末と比べ153,862千円増)、また子会社における営業権の取得によりのれんが66,038千円(前連結会計年度末と比べ65,657千円増)となりました。

流動負債においては、販売に向けての商品調達が先行して行われることから支払手形及び買掛金が

3,217,285千円(前連結会計年度末と比べ968,765千円増)となりました。

固定負債においては、商品調達が上半期に嵩むこと等により長期借入金が2,491,910千円(前連結会計年度末と比べ869,299千円増)となりました。

純資産においては、新株式の発行により株主資本が5,440,815千円(前連結会計年度末と比べ860,060千円増)となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成24年3月5日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(表示方法の変更)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

従来、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「固定資産除却損」は、当第2四半期連結累計期間では金額的重要性が増したため、区分掲記しております。この表示方法を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示しておりました5,271千円は、「固定資産除却損」1,002千円、「その他」4,268千円として組み替えております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,818,132	1,983,187
受取手形及び売掛金	2,809,330	4,275,807
商品及び製品	2,390,401	2,858,591
仕掛品	132,236	170,552
原材料及び貯蔵品	450,190	469,812
繰延税金資産	136,216	188,190
その他	526,794	681,178
貸倒引当金	△12,777	△14,773
流動資産合計	8,250,526	10,612,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,011,478	2,165,340
土地	627,239	627,239
建設仮勘定	176,138	133,586
その他(純額)	237,416	261,647
有形固定資産合計	3,052,273	3,187,815
無形固定資産		
のれん	381	66,038
その他	255,468	373,072
無形固定資産合計	255,849	439,110
投資その他の資産		
投資有価証券	90,618	87,165
繰延税金資産	19,106	19,534
その他	539,410	546,642
貸倒引当金	△20,549	△21,751
投資その他の資産合計	628,585	631,591
固定資産合計	3,936,708	4,258,517
資産合計	12,187,234	14,871,063

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,248,520	3,217,285
短期借入金	1,431,714	1,235,385
1年内返済予定の長期借入金	1,335,151	1,273,290
未払法人税等	255,979	326,336
賞与引当金	51,125	52,288
その他	510,799	682,063
流動負債合計	5,833,290	6,786,651
固定負債		
長期借入金	1,622,610	2,491,910
退職給付引当金	10,393	9,035
資産除去債務	74,852	78,681
その他	61,174	54,743
固定負債合計	1,769,030	2,634,370
負債合計	7,602,321	9,421,021
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	570,560	826,823
資本剰余金	599,167	877,508
利益剰余金	3,492,263	3,762,919
自己株式	△81,236	△26,435
株主資本合計	4,580,755	5,440,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,266	3,929
繰延ヘッジ損益	△2,375	△11,686
為替換算調整勘定	△32,072	△17,650
その他の包括利益累計額合計	△28,181	△25,407
少数株主持分	32,339	34,633
純資産合計	4,584,913	5,450,042
負債純資産合計	12,187,234	14,871,063

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年7月20日)
売上高	8,369,433	9,253,132
売上原価	4,838,387	5,526,707
売上総利益	3,531,046	3,726,425
販売費及び一般管理費	2,901,544	2,976,023
営業利益	629,502	750,402
営業外収益		
受取利息	715	1,369
為替差益	7,633	—
受取手数料	24,745	22,655
その他	21,778	21,215
営業外収益合計	54,873	45,240
営業外費用		
支払利息	45,930	44,017
為替差損	—	35,072
その他	6,279	11,012
営業外費用合計	52,209	90,102
経常利益	632,166	705,540
特別損失		
固定資産除却損	1,002	23,613
投資有価証券売却損	29	—
投資有価証券評価損	—	208
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40,791	—
特別損失合計	41,822	23,821
税金等調整前四半期純利益	590,343	681,718
法人税、住民税及び事業税	335,676	338,322
法人税等調整額	△72,115	△46,066
法人税等合計	263,561	292,255
少数株主損益調整前四半期純利益	326,782	389,462
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△815	1,648
四半期純利益	327,597	387,814



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年7月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	326,782	389,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,244	△2,337
繰延ヘッジ損益	△4,253	△9,310
為替換算調整勘定	2,418	15,068
その他の包括利益合計	409	3,420
四半期包括利益	327,191	392,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	327,543	390,588
少数株主に係る四半期包括利益	△352	2,294

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年7月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	590,343	681,718
減価償却費	107,278	115,591
のれん償却額	5,331	2,342
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△616	3,189
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,455	1,163
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,716	△1,357
受取利息及び受取配当金	△1,726	△2,411
支払利息	45,930	44,017
為替差損益 (△は益)	2,758	△3,223
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40,791	—
固定資産除却損	1,002	23,613
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,731,408	△1,467,476
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△248,968	△531,890
その他の資産の増減額 (△は増加)	△64,852	△113,365
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,215,040	971,047
その他の負債の増減額 (△は減少)	282,578	152,085
その他	4,268	7,870
小計	255,921	△117,085
利息及び配当金の受取額	1,726	2,411
利息の支払額	△47,512	△45,538
法人税等の支払額	△149,250	△272,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,885	△432,317
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△193,095	△241,337
無形固定資産の取得による支出	△82,206	△196,871
投資有価証券の取得による支出	△202	△225
短期貸付けによる支出	△148,181	△34,920
短期貸付金の回収による収入	2,316	1,416
その他	24,848	△14,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△396,520	△486,083
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	476,000	1,425,000
短期借入金の返済による支出	△517,160	△1,616,898
長期借入れによる収入	1,300,173	1,650,000
長期借入金の返済による支出	△590,938	△842,881
株式の発行による収入	—	512,526
自己株式の処分による収入	—	76,878
配当金の支払額	△116,473	△117,159
その他	△5,952	△7,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	545,648	1,080,120
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,333	△3,250
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	215,346	158,468
現金及び現金同等物の期首残高	1,743,905	1,802,129
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,959,251	1,960,597

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月2日を払込期日とする公募による新株式発行を行いました。また、平成24年4月26日を払込期日とする大和証券株式会社を割当先としたオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による自己株式の処分を行いました。その結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が256,263千円、資本準備金が278,341千円増加し、自己株式が54,800千円減少したことにより、当第2四半期連結会計期間末において資本金が826,823千円、資本剰余金が877,508千円、自己株式が26,435千円となっております。